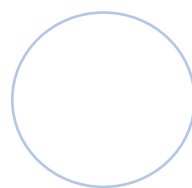
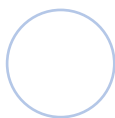


認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

2024 年度(令和 6 年度)

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

事業報告



20 年間お世話になりました「かあさんの家管師」

目次

1、活動のまとめ	…1
2、2024 年度事業活動実績	
1) 在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア活動)	…2
(1)患者らいぶらり (2)宮崎聞き書き隊	
(3)緩和ケア病棟園芸ボランティア (4)かあさんの家ボランティア	
2) 人材養成のための教育プログラム	…3
(1)市民公開講座(宮崎市在宅療養相談事業)	
(2)がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業)	
(3)これからライフデザイン塾	
3) エンドオブライフケア支援事業	…6
(1)暮らしの保健室	
①ゆりりサロン②AYA 世代お茶会	
(2)ふらっとカフェ(宮崎県がんサロン等運営支援事業)	
(3)宮崎市在宅療養相談支援事業(宮崎市補助事業)	
4) ホームホスピスカあさんの家事業	…10
(1)かあさんの家の運営	
(2)訪問介護ステーションぱりおん(医療・介護保険規定による事業)	
5) HALE たちばな	…13
(1)事業概要	
(2)医療・介護保険規定による事業	
①みつばち診療所	
②訪問看護ステーションぱりおん	
(3)障害者総合支援法の規定による障害福祉サービス事業	
①日中一時支援 ohana	
②福祉型強化短期入所 leilei	
(4)児童福祉法の規定による障害児相談支援事業	
①相談支援事業所 luana	
(5)HALE たちばなを中心とした制度外の事業	
6) ホームホスピス推進研修センター事業	…22
(1)ホームホスピス研修生の受け入れ	
(2)一般社団法人全国ホームホスピス協会	
7) 研究・啓発・情報・広報	…23
(1) 認定 NPO 寄付文化の醸成	
(2) ホームページ SNS の充実・報道	
(3)講師派遣・見学者の受け入れ	
(4)外部委員会参加	
8) 助成・寄付	…24
9) 組織運営	…25
(1)理事会・定期総会	
(2)会員	
(3)寄付者	
(4)事務局	

1. 活動のまとめ

◎はじめに

自然災害が全国で多発し、8月には宮崎県内でも次々に自然災害に見舞われました。8日に日向灘を震源とする地震が起き宮崎市で震度5強の揺れ、1週間程度は同程度の揺れの備えをとの気象台の発表に、南海トラフ地震の前触れではと不安が広がりました。そのあとも、相次いで台風が発生し、10日には県内各地に「線状降水帯」が発生、28日には台風10号の影響で複数の竜巻と突風が発生しました。大淀川南側の地区では多くの住宅で屋根が飛んだり壁が剥がれたりの被害があり、恒久の本部事務局は幸いにも竜巻の通り道から外れて被害はなかったものの、かあさんの家曾師の屋根瓦の一部が剥がれました。自然災害はいつ発生するか予測できないので改めてその備えは必須であり、かあさんの家やH A L E たちばなの災害時の対応について再確認し見直しました。

“老いても、癌になっても、障害を得ても、家にいたいと思ったら帰れる地域をつくっていかう”このスローガンはホームホスピスを立ちあげた時のミッションです。設立時から半世紀、2025年は団塊の世代が75歳になり、まさに高齢多死社会が到来しています。実は最近、医療的依存度の高い人々を抱え込み、診療報酬などの隙間に入り込み収益を上げるビジネスモデルが大きな話題になっています。がんや神経難病などの医療を必要とする方々が、一人暮らしや家族の介護力が弱くて病院から家に帰れない時に、その方々を支えるケア及び良質な生活環境が乏しい現状があり、本人の望むような生き方ができづらい社会になりつつあることは、今後ますます進む高齢社会の大きな課題です。これまで地域の資源を再構築して必要な支援を展開してきたのが、暮らしの保健室やホームホスピスカあさんの家、H A L E たちばなの事業だと思います。今後もこれまでに実践してきたことを、愚直に進めていくことなのだと考えています。

また、H A L E たちばなは立ち上げから3年が経過し、さらに発展し作り上げていく時期に入りました。みつばち診療所は、手狭になったことからH A L E の1階から上野町に改築移転し、再スタートを切りました。訪問看護ステーションぱりおんは年度末に管理者が交代し、日中一時支援 ohana、および短期入所 leilei も新たな体制で次年度に臨みます。また7月に相談支援事業所 luana を開設し、日常生活に医療的ケアを必要とする方々が自宅で安心して暮らせるようにサポートしていく体制が整いました。つどいけあ、Pono は宮崎県内の医ケア児支援ネットワークとして回を重ねるごとに交流が深まっています。

任意団体として活動を始めて27年、NPO法人としては25年になります。設立時に定めた定款の目的は、“生命の尊厳を基本理念として、誰もが安心して望む場所で望むように生を全うすることができるよう、様々な職種およびボランティアの連携を図り、地域住民の健康保持 及び福祉増進に寄与することを目的とする”であり、この理念を根幹に事業を展開してきました。

◎基本方針…定款の目的を達成する為に、以下の事業を行ってきました

- ①在宅ホスピス支援センター事業
- ②人材育成のための教育プログラム
- ③エンドオブライフケア支援事業
- ④ホームホスピスカあさんの家事業
- ⑤在宅総合支援「H A L E たちばな」事業
 - ・みつばち診療所・訪問看護ステーションぱりおん・日中一時支援 ohana・福祉型強化短期入所 leilei
 - ・相談支援事業所 luana
 - (医療保険・介護保険規定による事業、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業)
- ⑥ホームホスピス推進研修センター事業(併設一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局)

2. 2024 年度(令和 6 年度)事業活動実績 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

(1) 患者らいぶらり

実施日時：毎月第 3 木曜日 14:00～16:00

9 月より、毎月第 1・第 3 木曜日 14:00～15:00 に変更

場 所：古賀総合病院 中央 4 F 病棟(※8 月まで)

9 月より、東棟 3 F 病棟産婦人科のみに変更

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

ボランティア：6 名

実 施 日：2024 年 4/18(5)、5/16(6)、6/20(5)、7/18(5)、8 月休み、9/5(4)、9/19(2)、

10/3(3)、10/17(3)、11/7(3)、11/21(2)、12/5(2)、12/19(2)

2025 年 1/9(3)、1/16(3)、2/6(2)、2/20(3)、3/6(4)、3/27(2)



合計 18 日 活動延べ人数：59 名

- ・ 9 月より、場所が産婦人科病棟のみになった為、2 班に分かれて活動している。
- ・ 病院と利用状況や本の設置場所等の意見交換し、9 月からは産婦人科のみの活動となり入院されている方の興味関心のある書籍を揃えるよう工夫している。

(2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第 2 日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

担 当：井上 直敬

ボランティア：10 名

実 施 日：(参加人数※リモート参加者も込)

2024 年 4/14(休会)、5/19(5)、6/9(3)、7 月(みやざき聞き書き学校参加)、8/18(3)、

9/8(4)、10/13(4)、11/17(3)、12/8(2)、2025 年 1/12(5)、2/9(6)、3/9(7)



合計 10 回 延べ参加者数：42 名

【研修会参加】

- ・ 2024 年 7 月 7 日 みやざき聞き書き学校 参加者 9 名
- ・ 2024 年 12 月 21、22 日 聞き書き学校 in 横浜



聞き書き学校 in 横浜

- ・ 講座を受けたあとを定着した活動に導くためや、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的に実施している。
- ・ 交流の場、情報交換の場としての機能も有しており、毎月の勉強会へ県外からオンライン参加も増えている。

(3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

ボランティア：9名

実 施 日：実施なし

※宮崎市郡医師会病院が生目に移転し、ボランティア休止状態である。

(4) かあさんの家ボランティア

実施日時：随時

場 所：ホームホスピスカあさんの家

内 容：庭の手入れ(ご家族)

ボランティア実習(看護学生)

担 当：久保野 イツ子

2) 人材養成のための教育プログラム

(1) 市民講座(令和6年度 宮崎市在宅療養相談事業)

『体感して学ぼう やさしい日本語』

期 日：2025年1月18日(土) 13:00～

会 場：宮崎市総合福祉保健センター

講 師：武田 裕子 先生(順天堂大学大学院 教授)

来場者：31名 事務局・スタッフ4名



【参加者感想】

- ・医療にとって「やさしい日本語」はこれから必要だと思った。
- ・大事なことは相手のことを理解したい、相手に何を伝えたいかを明確にすること、相手の目や表情を確認しながら伝えることを忘れないようにしたい。
- ・今、必要な講演だと思った。
- ・実際にやってみると、思ってもみなかった問題点がわかって為になった。
- ・とても勉強になった。院内勉強会をしてもらいたい。



(2) がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業)

テーマ『がんになっても「あなたらしく」暮らす』

期 日：2025年2月9日(日)13:00～16:00

会 場：県電ホール(宮崎市旭1丁目2-2)

ZOOMでのオンラインと会場のハイブリッド開催

講 師：松本 京子 氏 (全国ホームホスピス協会 副理事長)

コーディネーター：板井孝彦 氏

(宮崎大学医学部 社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授、臨床倫理部部長)

参加費：無料 (宮崎県より修了証を発行)

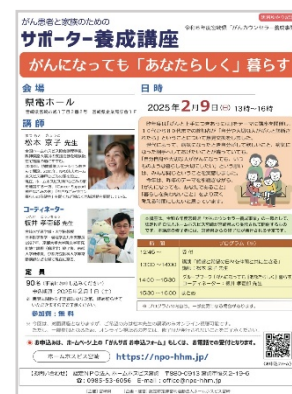
参加者：42名(会場37名 オンライン5名)

看護師、訪問看護師、病院関係者、ソーシャルワーカー、医師、保健師

社会福祉士、介護福祉士、地域包括支援センター、がんサバイバー、患者家族など

講演内容：「ホームホスピス神戸なごみの家」「神戸なごみサロン 暮らしの保健室」

「Cancer Support 神戸なごみの家」の活動について



【参加者感想】

- ・松本先生のお話でも実生活の中でうなずきが沢山あった。
- ・がん当事者、医療職、福祉職などが話し合う機会でもとても為になった。
- ・がんの患者さんの気持ちを聞いてよかった。自分自身ががんになった時の「らしさ」を考えるよいきっかけとなった。
- ・グループ発表について、発見があり自身も気づきになりました。是非、次回も参加したい。
- ・松本講師のお話の中で「人は人を支え、人とともにくらしていく」という点と「緩和ケアは生きるためにある」という視点は新しい発見だった。
- ・急性期病院では「もう何もする事ができない状態」と理解されてるため、新たな発見ができて良かった。
- ・板井先生のワークショップは、期待通り楽しく、現状を学ばせていただいた。教科書にはない人から学ぶことの大切さを改めて感じた有意義な時間だった。
- ・サポートする施設等が県内にもあった事を知った。情報について知らなかった事に驚いた。



(3) これからライフデザイン塾 (ハウジングアンドコミュニティ財団助成)

【開催概要】

1) 「みやざき聞き書き学校」

期 日：2024年7月7日(日) 9:30～15:00

会 場：暮らしの保健室

参加者：15名

講 師：小田豊二 氏



2) 認知症予防レシピ

「かんたん料理でタンパク質を摂ろう」

期 日：2024年10月9日(水) 10:00～13:30

会 場：暮らしの保健室

参加者：10名

講 師：松井康代 氏



「栄養たっぷりお昼ご飯」

期 日：2024年12月2日(月) 10:00～13:30

会 場：暮らしの保健室

参加者：10名

講 師：松井康代 氏



3) 「もしもの時のために『わたしノート』を知っていますか」

期 日：2025年2月26日(水) 13:30～14:30

会 場：暮らしの保健室

参加者：15名

講 師：市原美穂



3) エンドオブライフケア支援事業

(1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」



暮らしの保健室で催される内容を、毎月「暮らしの保健室だより」として発行 計 12 回発行

○ 2025 年 3 月 29 日 暮らしの保健室九州フォーラム in 熊本 にて活動報告

《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水 10:30～15:00

月	日	曜日	時間	内容	人数 (オンライン 出席)
5	19	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4(5)
	20	月	17:00～18:00	理事会	5(5)
	25	土	13:30～14:30	総会	12
6	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	2(1)
	26	水	17:00～17:30	臨時理事会	4(5)
	26	水	17:30～18:00	臨時総会	10
7	7	日	10:00～12:00	みやざき聞き書き勉強会	9
	10	水	10:00～12:00	いきいき美容教室（赤江地区包括支援センター主催）	15
8	18	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
9	8	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4
10	13	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4
11	17	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	30	土	19:00～20:00	演劇企画「二人の会」「宮城野」公演	20
12	1	日	13:30～14:30	演劇企画「二人の会」「宮城野」公演	21
	8	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	2
	18	水	17:00～18:00	理事会	6(6)
1	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4(1)
2	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	6
3	6	木	17:30～18:00	臨時理事会	3(4)
	9	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4(3)
	27	木	17:00～18:00	理事会	4(6)
	28	金	11:00～12:00	理事会	3

①ゆるりサロン

実施日時：毎週月・水曜日 10:30～15:00

場 所：暮らしの保健室 事務局担当：宮脇裕子

ボランティア：7名（うち体操指導2名、パッチワーク指導1名）

参加者：自分で来所することができる方、ご家族送迎のある方

実施日（回数）：2024年4月(8)、5月(8)、6月(9)、7月(8)、8月(5)、9月(7)、10月(7)、11月(7)、
12月(7) 2025年1月(7)、2月(6)、3月(8) 合計 87回

延べ利用者（人数）：2024年4月(22)、5月(22)、6月(28)、7月(21)、8月(14)、9月(19)、10月(22)、
11月(17)、12月(21)、2025年1月(20)、2月(16)、3月(22) 合計 244名

延べボランティア数(人数)：2024年4月(28)、5月(27)、6月(22)、7月(22)、8月(13)、9月(16)、
10月(15)、11月(18)、12月(15)、
2025年1月(14)、2月(19)、3月(21) 合計 230名

年間行事：音楽遊び（月1回）、パッチワーク教室（月4回）

しめ縄づくり、音楽コンサート（ハウジングアンドコミュニティ財団助成）

七夕、クリスマス会、交通教室、のるーと体験乗車、防災教室

・4～2月 イオン幸せのイエローレシートキャンペーン参加

要支援までの認定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であってもデイサービスの無い日に気軽に掛けられる場所。ゆるりサロンに行くとなじみの顔があり、楽しみができることにより、健康を取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

利用者サポートや音楽、アロママッサージなど、ボランティアをしたいという問い合わせが増えた。



アロママッサージボランティア



しめ縄づくり



音楽遊び

②AYA 世代お茶会

内 容：AYA 世代患者会への支援

担 当：太田 幸子

2025年3月20日(祝)休日ふらっとカフェとして、暮らしの保健室にて実施。

平日参加できない方もあり、大変喜ばれたため、来年度も継続したい。

(2) がんサロン (ふらっとカフェ) (宮崎県がんサロン等運営支援事業)

主 催：宮崎県 運営企画：ホームホスピス宮崎

担 当：太田幸子

カフェスタッフ：8名 アロマセラピスト：3名

HHM 事務局：久保野イツ子、岡田瑞穂

実施日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

場 所：県立宮崎病院 4階会議室

実 施 日：2024年4/10、5/8、6/12、7/10(アピアランスケア)、8/14、9/11、10/9、11/13、12/11
2025年1/8、2/12、3/12

3/20(祝)休日ふらっとカフェ 場所：「暮らし保健室」

計 13回 実施

延べ利用者数：112名＋アピアランスケア資生堂2名＋見学者等11名



- ・参加者(スタッフも)は、入口で検温、手指消毒、連絡先・問診票の記入 テーブルに消毒液設置
- ・コーヒー、紅茶、お抹茶、煎茶と個包装の小さな菓子を提供。
- ・希望者にはアロママッサージを体験して頂く。
- ・治療や生活に役立つ正しい情報など、持ち帰り用の毎回違う資料を配布
- ・「がんサポートブックみやざき」「がん防災」「食事」の冊子なども配布



がん外見セミナー

【まとめ】

- ・初めての方からは、とにかく話を聞いて心の内を吐き出してもらうことに心がけた。
- ・何回も来られている方は、ふらっとカフェでの顔なじみとの対面での会話を楽しんでいる。
- ・同じがん種の方の話を聞きたいという方には、了承をとり、話をしてもらった。常連の方が初めての方へ自ら話しかけて下さり、経験を話され、安心と希望になった。
- ・病棟から医師が患者さんを連れて参加したり、他の病院からの紹介で来られた方もあった。
- ・他の病院の医師、サロンの担当者なども来られ、連携ができた。アピアランスケアでは、特別派手なメイクを教えてもらったのではなく、自分でもやってみた自然なメイクだが、ブースから戻って来られた方は、皆、綺麗で笑顔が輝いていた。
- ・男性の顔の傷痕を目立たなくするメイクもあり、メイクがこんなに人を元気にするのかと実感した。
- ・友人とともに来られた告知を受け手術が決まった方が、アロマを体験や常連さんとの話を終えるころには「私、手術頑張ってきます」と元気に言われた。
- ・未経験で不安でいっぱいの方が、入院準備や体験者ならではの知恵をもらい、今から自分がやることが見えて表情が明るくなり、自分を取り戻す時間になっている。
- ・新しい方を温かい雰囲気で包み、このことなら〇〇さん、それについては〇〇さんに聞くといいよと惜しげもなく経験や情報を教えてくれる参加者の皆さんに感謝している。
- ・他の病院のサロンにもチラシを置いてくださり、紹介して下さっている。
- ・患者さんを通じて他の病院のサロンや勉強会の情報、療養に有用な情報を得ることができて、好循環が生まれている。

外部団体主催研修会（参加者：太田幸子・岡田瑞穂）

2024年9月28日 がん防災セミナー

11月4日 宮崎県がん診療連絡協議会相談支援専門部会がんサロン

11月30日 宮崎県がん診療連携協議会市民講座

（3）宮崎市在宅療養支援事業（宮崎市補助事業）

相談担当：理事長・看護師・介護福祉士・事務局

相談件数：57件 電話・メール・対面にて相談

主な相談内容：がん治療、退院後の生活、病気の家族への寄り添いかた、在宅介護、施設入所、在宅医療、在宅サービス、看取り、かあさんの家居居

【相談窓口の設置】

- ・宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたらしく生きる」道標の場を設置する。
- ・相談窓口設置の周知のためにチラシ作成し、自治会回覧板での案内。メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く。相談は、電話、または面談してお話を聞く。
- ・相談料無料。相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。
- ・相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。

専用相談電話 0985-67-5003

相談日：週5日午前10時から午後5時まで開設。

- ・お薬相談

相談日：毎月第4月曜日 午前11時～12時



お薬相談

【相談内容と対応】

- ・電話相談数は減少してきたが、自治会回覧後に急激に相談電話が増える傾向があったため、市民への周知になっていると感じる。
- ・病院の連携室から家族へ繋がる方が増える一方で、医療機関にて医師や看護師へ自分の想いを伝えられていない方や連携室があることを知らない方もあり、病院による差を感じることもあった。
- ・相談時に自ら精神疾患があることを伝えられる方もでてきた。情報提供時には、よりわかりやすく伝えるなど工夫をした。
- ・お薬相談は、場所の都合により、ほとんど暮らしの保健室での実施となった。暮らしの保健室のほうが相談者数も多く、事前に予約される方もいたため、引き続き暮らしの保健室での実施としたい。
- ・相談内容に応じて包括支援センターなどに繋ぎながら対応しており、相談窓口を持つ団体との連携や紹介を少しずつできるようになってきている。

4) ホームホスピスかあさんの家事業

(1)かあさんの家の運営

統括マネージャー：久保野イツ子

主 任：【曾師】薬師寺恵【月見ヶ丘】荒川久美子【生目台】柴田さつき

【事業内容】

- ① 訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のサービスなど利用する。
- ② 24時間 365 日対応で、夜間 1 名、昼間 2 名のスタッフ配置。
- ③ 家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護と連携して補完する。
- ④ 高齢者の摂食嚥下に配慮して嚥下訓練やソフト食の提供。調理担当スタッフがいることで、台所からの音や匂いがあふれ、食欲が増す効果がみられるようになった。
- ⑤ 本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など)
- ⑥ 防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。日頃からの挨拶や地区の行事に参加するようにしている。

【かあさんの家の運営】

- ・本年度の看取り数は 7 名。病名としては、がんや神経難病、腎不全等の基礎疾患があるも、個別ケアで普通の生活を続ける中、入居当初は余命数カ月と告げられた方も、数年の経過をたどっている。病状が落ちついて、2 年から 11 年の方も、100 歳の寿命を全うされた方も、死亡病名は老衰が 9 割を超えた。「病院に入院していたら家族が傍に寄り添って看取ることができなかった、本当に良かった」「よく頑張りました。ありがとうございましたと声をかけることができました」との家族の言葉があった。
- ・穏やかな経過をたどり長い入居となっていた方々を相次いで見送り、かあさんの家に空きの状態が続き、5 名定員に満たないでの運営となった。

【かあさんの家・曾師の閉鎖について】

- ・ここ 2 年程前から台風などの強い風雨によって雨漏りが発生し、内壁にカビが発生する事態になった。8 月の台風で雨漏りもひどくなり業者に補修を依頼し応急処置を行ったが、完全に解消するためには、屋根の下地をすべて更新したうえで、隙間からの吹きこみ防止の追加工事を行い瓦を乗せなおす工事が必要となり多額の費用が掛かるということが分かった。このまま引き続き借りて継続できるのかと心配だったので、家主である内田さんに相談したところ、やはり、高齢になっていることもありこれから先管理ができないと苦慮している旨を伺った。そこで曾師の家を閉めて、入居者を月見ヶ丘と生目台に転居してもらい、20 年お借りしてきた曾師の家をお返しすることとした。
- ・3 月中に曾師の住人 2 名を生目台に、2 名を月見ヶ丘に移転してもらい、介護職も 2 か所に分散することにより、住人の転居によるダメージを軽くする。介護職の不足に関しても、曾師のスタッフが月見ヶ丘と生目台に移動することによって解消された。

- ・かあさんの家曾師は、全国のホームホスピス発祥の家であり、開所から現在まで 20 年 6 か月にわたって運営してきた。これまでに 55 名の方が旅立たれている。寂しさはあるが、この家で紡がれてきたそれぞれの物語があり、これからもホームホスピスのモデルとして語り継がれると考える。

【行事】

- ・お誕生会やお花見会

それぞれのお誕生会は、ご家族にも参加いただいてスタッフが主になってお祝いした。

例年行事のお花見会は、休止状態であり、ご家族同士の交流の機会が少ない状態が続いている。

今後、家族の交流会の機会を企画していきたい。

【研修生の受け入れ】

- ・ホームホスピスの学校のつくるコース...2 名
- ・宮崎県立看護大学 2 年生...2 名
- ・台湾 台東・都蘭診所より 10 名の視察研修



5/29 暮らしの保健室にてガイダンスとホームホスピスについての研修

かあさんの家生目台にて、訪問歯科の研修と食支援の実習

懇親会…吉村学先生、台湾大学と交流

5/30 H A L E たちばな見学（訪問看護ステーションぱりおん・日中一時支援 ohana）

◆かあさんの家 曾師◆ （2025・3・31 現在）

現入居者：3 名（経管栄養 2 名、透析・ストーマ 1 名） 平均介護度：5

スタッフ：介護職 6 名、調理 1 名

看取り数：1 名 新たな入居者：1 名 ショートステイ 1 名 退所者 1 名

- ・1 週間のショートステイの方：1 名

- ・建物の耐震の事で、新たな入居者の受け入れが出来なかった。



◆かあさんの家・生目台◆

現入居者：3 名（胃ろう 1 名、認知症 1 名、骨折術後 1 名） 平均介護度：4

スタッフ：介護 7 名、調理 1 名

看取り数：2 名 新たな入居者：1 名 退所者：1 名

- ・元気な時に恒久のゆりりサロンにいられていた方が、骨折の術後、家での生活が不安との事で「かあさんの家なら入っても良い」との事で、生目台に入所となる。

- ・6 年目の入居者が 100 歳の誕生日(大正 14 年生)を迎えられ、子供・孫・ひ孫に誕生日を祝ってもらうことができた。



◆かあさんの家・月見ヶ丘◆

現入居者：3名（経管栄養2名、認知症1名） 平均介護度：5

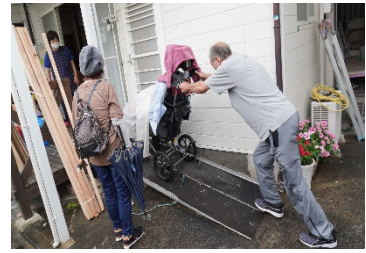
スタッフ：介護6名

看取り数：4名 新たな入居者：2名

・丸9年、入居されている方の看取りがあった。

えびの市の病院主治医より、このままであれば1ヶ月、食事が入れば3ヶ月と言われた為、えびの市には親族もいないので、長男のいる宮崎市に連れて来られ、かあさんの家入居となり、（5ヶ月生きられました）最期は、宮崎の長男、県外の長女、次男に看取られ旅立たれた。

・ゆるりサロンに参加されていた方が、体調を壊し入院加療後施設に入所、嚥下性肺炎を起こし再入院し、家族の面会が制限されていたので、月見ヶ丘入居となる。子供や孫たちがずっとそばに寄り添い、見守る中穏やかに逝かれた。



（2）訪問介護ステーションぱりおん（医療・介護保険規定による事業）

管理者：甲斐昌江

サービス提供責任者：薬師寺恵、甲斐昌江、荒川久美子、紫田さつき

スタッフ：20名 うち夜勤専従看護師1名

介護福祉士10名、看護師2名、ヘルパー1級1名、ヘルパー2級5名、調理担当2名

【内部研修】

- ・毎月初めに主任会議（シフト会議）、各かあさんの家の報告（毎月）
- ・定例スタッフ研修（毎月、各家ごと）

各かあさんの家のスタッフ会議を2ヶ月に1回開催（月見ヶ丘2名のデスカンファレンスを実施）

【外部研修】

2024年9月30日 介護労働安定センター研修会 1名

2025年1月21日 介護報酬改定の最終チェックと令和7年度にやるべきこと 1名

1月30日 人生会議の進め方 2名

【その他】

宮崎県福祉人材センターより、福祉の職場見学（かあさんの家生目台へ） 1名

2025年3月4日 運営指導 （返戻になる様な大きな指摘はなかった）

5) HALE たちばな

(1) 事業概要

HALE たちばなは4年目に入り、一部の組織編成や新事業所への移転など変化と進歩の一年となった。みつばち診療所は、年度当初に家庭の事情により院長の辞職という難局に直面したが、所属医師及び看護師をはじめとする全スタッフの尽力と新しい非常勤医師や看護師の確保、また東京をはじめとした遠方からの医師のサポートもあり、難局を凌ぐことができた。また、新年度からの院長も決まり、新しい体制でのスタートに向けて、3月からは診療所を HALE たちばな（宮崎市橘通東3丁目）から宮崎市上野町に移転した。

訪問看護ステーションぱりおんは、短期入所 leilei、日中一時支援 ohana とともに、引き続き医療的ケア児に対応した事業所として、その分野における地域の第一事業所としての役割を果たしてきた。

特に、短期入所 leilei については、日帰り短期入所の導入など利用者の要望と受け入れ体制に応じた規程の変更などを実施するとともに、昨年度より導入された県と市町村による補助金も交付が実施されるようになり、収益の改善が図られるようになってきた。

また、2024年7月より、相談支援事業所 luana を開設し、宮崎市を中心とした医療的ケア児のサービス利用を支援する事業をスタートさせた。加えて、訪問看護ステーションぱりおんと短期入所 leilei に関しては、新年度からの新体制に向けて今年度末より準備を始めた。

(2) 医療・介護保険規定による事業

①みつばち診療所 2025年3月1日より宮崎市上野町4-23へ移転

医師：楠元恭子：管理者（常勤）2021年10月～2024年6月

市原美宏：管理者（常勤）2024年7月～2025年3月

近藤千博（非常勤、火曜PM・水曜）2023年7月～2024年6月

新森加奈子（非常勤、木金9:30-13:00）2023年11月～2025年2月

田中美幸（非常勤、月・木）2024年1月～2024年3月

（常勤）2024年4月～

臨時非常勤医師：武田裕子・斎藤康弘・吉見未祐・吉村学

統括看護：前畑和樹、准看護師2名 看護師2名(内1名新卒者)

医療事務：非常勤1名



移転した診療所

- ・楠本恭子先生が家庭の事情で7月に退職。管理者として市原美宏先生が代行。

医師の獲得に奔走した一年だったが、武田先生はじめ、斎藤先生、吉見先生、吉村先生など、臨時での手助けをいただき、なんとか1年を乗り切った。医師の安定的な確保には今後も努力が必要である。

【2024 年度訪問実績(人)】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
定期訪問	334	320	226	235	201	265	265	288	290	283	287	295	3,289
往診	36	35	25	34	26	26	33	23	36	33	39	43	389
緊急往診	4	5	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	16
夜間往診	2	3	0	5	1	0	0	2	0	1	1	2	17
深夜往診	0	1	0	2	1	1	2	1	1	4	0	1	14
休日往診	0	3	3	0	0	0	0	1	3	4	1	3	18
外来	10	18	7	8	8	10	9	13	8	13	13	12	129
計	386	385	262	285	237	302	310	328	339	339	342	357	3,872

- ・ 患者登録数 180 人（入院 8 人）
 - 居住地別 自宅（医療的ケア児以外）49 人
 - 自宅（医療的ケア児）15 人
 - かあさんの家 10 人
 - 有料老人ホーム(介護付き含む)、GH、高齢者マンション 106 人

【外部活動】

2024 年 8 月 12 日 挑戦と希望の地域支援・訪問看護ステーションと他医療機関との連携支援
 実行委員及び part2 パネルディスカッションパネリスト：前畑

②訪問看護ステーションぱりおん

訪問看護ステーションぱりおん（橘通）サテライトぐりーん(恒久)

所 長：堤育子 副所長：日隠 由美子

看護師・保健師(2)：常勤 8 名・非常勤 3 名

理学療法士：常勤 2 名

事務：常勤 2 名 非常勤 2 名

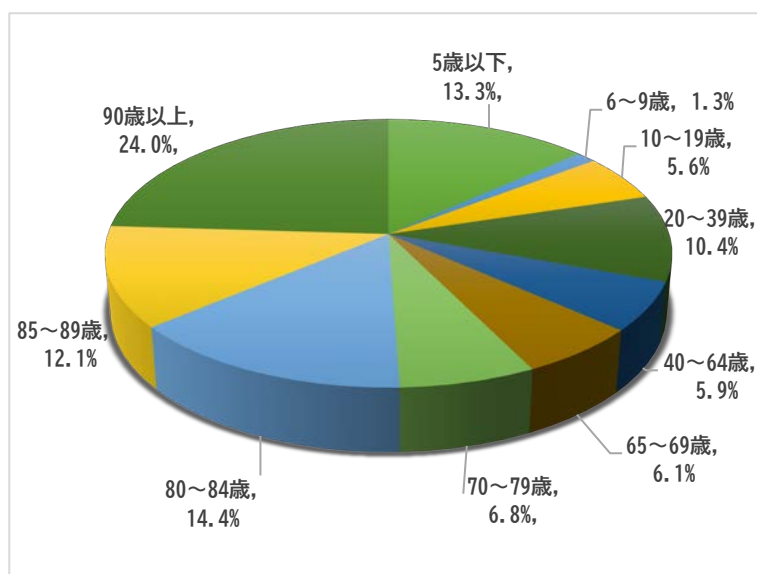
【訪問実績】

〈訪問看護利用者の年齢別分類〉

18 歳未満 20.2%

19～64 歳 16.3%

65 歳以上 63.4%



〈訪問看護利用者数〉

月	予防	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	医療併用	医療保険	合計件数
4	3	11	6	7	6	15	4	55	110
5	3	11	6	5	5	14	1	52	100
6	2	12	6	6	4	14	0	49	95
7	2	11	6	6	4	14	3	48	98
8	2	11	6	6	3	14	1	46	93
9	2	14	6	6	3	13	2	51	99
10	2	15	4	5	3	13	2	53	99
11	2	15	5	6	2	13	0	52	97
12	2	16	4	4	2	15	3	54	102
1	2	15	4	4	2	15	3	54	101
2	2	14	4	4	2	14	2	54	98
3	2	14	6	4	2	13	4	53	100
延べ訪問利用者数/年									1192 名
平均訪問利用者数/月									99.3 名

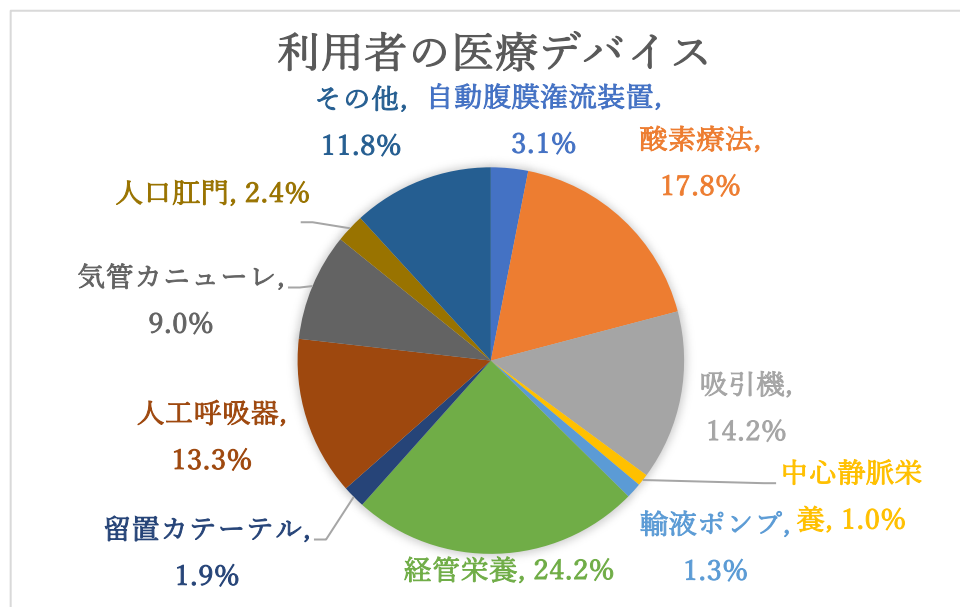
〈訪問回数〉

月	予防	介護保険	医療保険	合計件数
4	15	323	573	911
5	14	335	487	836
6	13	305	433	751
7	22	308	486	816
8	22	282	382	686
9	11	293	393	697
10	12	303	464	779
11	12	292	434	738
12	13	269	459	741
1	12	266	474	752
2	12	265	373	650
3	12	247	297	556
訪問延べ回数				8913 回

【利用者疾患の概要】

がん、脳血管障害、呼吸器疾患、消化器疾患、脳性麻痺、難病、腎疾患、内分泌疾患、認知症など

【利用者の医療デバイス】



【看取り件数】

4月2名、5月4名、6月2名、7月0名、8月1名、9月1名、10月3名、11月1名、12月1名
1月2名、2月1名、3月4名

計 22 名

【外部事業】

宮崎県医療的ケア児支援事業

宮崎県専門認定看護師相談支援事業

【外部講師派遣等】

(堤)

医師会講義 5/10 5/17 5/24 5/29

看護協会 STEP2 6/1

看護協会長賞 6/15

専門・認定看護師講習講師 7/20

宮崎県立看護大学死生看護学講師 11/5

医療的ケア実務者検討会議 宮崎大学看護科視察 11/7

日本緩和医療学会九州支部学術大会シンポジスト 11/16

延岡市視察 11/19

九州医療科学大学実習講師 12/4

医師会研修事例発表 2025.2/13

(吉田)

宮崎看護専門学校 地域・在宅看護論 5/31 6/12 6/14

令和6年度医療的ケア児等養成研修 8/21

【実習受け入れ】

宮崎看護専門学校 宮崎県立看護大学 九州医療科学大学

セカンドレベル実習 病院実習 PT 研修

【参加研修】

日本在宅看護学会 第14回学術集会 11/16、17 (参加者：村富、青木、田中)

<新卒者研修> 2名：医師会病院、看護協会等研修センター

<所内研修> 感染研修、災害研修、倫理研修・地域交流(板井教授)

(3) 障害者総合支援法の規定による障害福祉サービス事業

① 日中一時支援 ohana

管理者：川越やよい

看護師：常勤1名、非常勤3名、介護福祉士：常勤2名・非常勤2名

保育士：2名、生活支援員：1名、事務：1名



【事業内容】

主な対象：医療的ケアが必要な方

運営：月～金(土日祝、年末年始休み)

時間：9時～18時(送り17時) 送迎あり

定員：火～木 10名 月・金 5名

入浴：保険外利用は500円／1回



【一日の流れ】

日中	<u>朝から来所</u>	<u>学校終了後來所</u>
来所	バイタルチェック	バイタルチェック
午前	入浴・処置 水分補給	入浴・処置 水分補給・注入
お昼	注入	
午後	レクリエーション 帰りの準備 退所	帰りの準備 退所



【日中行事の様子】

天気のいい日は、近くの公園や商店街へお散歩や、科学技術館やお花見、海や初詣、近隣でのお祭りなど外出の機会を設けている。

室内では製作やリズム遊び、バランスボールやハンモックを使って体を使った遊びや、アロママッサージや自然の音を聴いてのリラックス、ストレッチ、季節のフルーツやおやつを口に含んで味覚を刺激するなどの遊びを取り入れている。

また、節分、ひな祭りやハロウィーン、運動会などの季節の行事をみんなで一緒に行っている。

【年間行事】

4月お花見 5月春の遠足 7月七夕 8月プール 9月秋祭り・秋の遠足 10月ハロウィン
11月運動会 12月クリスマス会 1月初詣 2月節分 3月ひな祭り

【実績】

月	利用者数	内訳			月	利用者数	内訳		
		未就学児	就学児	卒業後			未就学児	就学児	卒業後
4	17	7	4	6	10	17	7	5	5
5	18	8	4	6	11	17	7	5	5
6	15	6	4	5	12	21	9	7	5
7	20	10	5	5	1	21	10	6	5
8	19	9	5	5	2	19	10	4	5
9	16	7	4	5	3	19	10	4	5
					合計	219	100	57	62

②福祉型強化短期入所 leilei

管理者：広瀬知佳

【事業内容】

主な対象：医療的ケアが必要なお子様～高齢者

運営：月～日(年末年始休み) 最長 2 泊 3 日

時間：宿泊 9 時～翌 16 時 日帰り 9 時～翌 17 時

定員：月-5 名、火-3 名、水-3 名、木-3 名、金-5 名、土-7 名、日-7 名

食事：朝-100 円、昼-300 円、夜-300 円

送迎サービスあり

診療所や訪問看護ステーションが併設のため、医療の相談も可能であり、自宅でも訪問診療や訪問看護により連携した医療を提供。



【実績】

月	利用者数	内訳		利用者年齢		
		障がい	介護	未就学児	就学児	大人(18 才以上)
4	18	18	0	5	5	8
5	21	21	0	4	7	10
6	20	20	0	4	7	9
7	22	22	0	4	9	9
8	22	22	0	6	7	9
9	25	25	0	6	9	10
10	21	21	0	4	7	10
11	24	24	0	5	8	11
12	21	21	0	5	7	9
1	22	22	0	4	7	11
2	23	23	0	7	6	10
3	20	20	0	5	8	7
合計	259	259	0	59	87	113

(4) 児童福祉法の規定による障害児相談支援事業

①相談支援事業所 luana 2024 年 7 月 1 日開設

管理者：大西三紀子

【事業内容】

主な業務は、医療的ケア児者の相談と計画作成

具体的には、医ケアが必要な未就学児の保育園を探したり、宮崎市自立支援協議会に参加し、地域課題の共有と解決に向けた検討をしている。

他の相談支援事業所からの移管や直接の相談、訪問看護ステーションぱりおんからの相談等に対応している。

【対象者】

障がい福祉サービス又は障がい児通所支援を利用する障がい者又は障がい児

【実施地域】

宮崎市、国富町、綾町

【相談内容】

- ・医療的ケア児者の相談・計画作成
- ・福祉サービス利用につながらないケースの相談(就労や育児相談)

【相談実績】

相談件数 45 件 (他の相談事業所からの移管含む)

計画書作成 34 件

(5) HALE たちばなを中心とした制度外の事業

①コミュニティカフェ游椿

ケアルームやオストメイト対応トイレを備えたカフェとして運営

- ・2022 年 6 月～2024 年 6 月 (2024 年 6 月 26 日閉店)

外部の業者 Café KiKi と委託契約を結んで運営

営業日 月曜日・火曜日・水曜日・金曜日

来店者実績 4 月 128 名、5 月 137 名、6 月 175 名

- ・2024 年 7 月～2025 年 2 月 (2025 年 2 月 17 日閉店)

外部の業者コストマートが「游椿 with コストマート」として月曜日のみ運営

営業日 月曜日

営業時間 11:30～13:30

営業回数 2024 年 7 月(3) 8 月(3) 9 月(3) 10 月(3) 11 月(3) 12 月(2)

2025 年 1 月(1) 2 月(2)

計 20 回

- ・相談カフェ(休眠預金事業が 2024 年 3 月で終了)

2024 年 4 月～6 月 毎月第 4 月曜日コミュニティカフェ游椿にて開催

2024 年 7 月～暮らしの保健室にて開催

- ・ママ友ランチ会(休眠預金事業が 2024 年 3 月で終了)

2024 年度開催なし

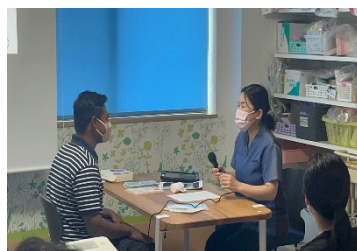
2025 年度は、内容を変更して開催予定

②研修・各種教室

【内部研修】

2024 年 8 月 20 日 「やさしい日本語」研修会 講師：順天堂大学 教授 武田裕子先生

2024 年 12 月 2 日 岡田圭さんを囲む会 講師：認定チャプレン岡田圭氏



【教室】

ヨガ教室 (ナイトヨガ)：2022 年 7 月～2024 年 11 月まで毎月開催

ウクレレ教室：2022 年 12 月から毎月開催

③SOS ネットワーク「つどいけあ」の運営

2021 年度～2023 年度に実施した休眠預金活用事業から引き継いで運営している。

・県内の医療的ケア児などを持つ家族の悩みや声を聞き、アドバイスや有用な情報を提供するためのシステムである「つどいけあ」を運営。

・毎月、県内の家族会と支援者などのネットワーク「宮崎県医療的ケアネットワーク Pono」の定期ミーティングを実施している。



6) ホームホスピス推進研修センター事業

(1) ホームホスピス研修生の受入れ（全国ホームホスピス協会より委託）

ホームホスピスの学校 ホームホスピスカあさんの家実習

2024 年 10 月 7～11 日 1 名(都城市)

2025 年 1 月 27 日～2 月 12 日 1 名(三重県)

(2) 一般社団法人全国ホームホスピス協会

一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局よりホームホスピス宮崎へ業務委託

理事長：市原美穂

役員：理事 6 名、監事 1 名、事務局 4 名、書記 1 名

【業務内容と実績】

- ①会員管理
- ②理事会の開催（WEB）
- ③定期総会（ホームホスピス宮崎暮らしの保健室・WEB）
- ④ホームホスピスの認定業務
- ⑤認定審査業務（レビュー）
- ⑥ホームホスピスの学校の運営(年 2 期)
- ⑦全国のホームホスピスの運営に関する相談・緊急支援
- ⑧拠点整備団体の推薦協会主催の研修会の運営
- ⑨研修会の実施

第 8 回ホームホスピス実践者育成塾 熊本県熊本市・WEB 開催 2024 年 7 月 13, 14 日

第 13 回ホームホスピス全国合同研修会 神奈川県川崎市・WEB 開催 2024 年 11 月 3 日

- ⑩ホームページ運営・ニュースレター（たんぽぽ）の発行

- ⑪全国の支部活動の支援

西日本支部研修会 大阪府大阪市・WEB 開催 2025 年 1 月 26 日

東日本支部研修会 福島県福島市・WEB 開催 2025 年 3 月 15 日

- ⑫新しく開設されたホームホスピスへの支援
- ⑬助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務
- ⑭日本在宅ケアアライアンス団体会員・総会参加

7) 研究・啓発・情報・広報

(1) 認定 NPO 寄付文化の醸成

認定 NPO 更新 2025 年 3 月 1 日 (5 年間)

- ・HP で、賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・継続寄付 (Readyfor、Syncable、OSUSO)
- ・助成金の申請
- ・第 3 者評価 (グッドガバナンス認証)

- ・研修会等への参加

6 月 1 日ハウジングアンドコミュニティ財団交流会 (滋賀県近江八幡市)

9 月 27 日 労務助成金説明会 (宮崎市)

11 月 16 日 住まいとコミュニティづくり活動セミナー (オンライン)

12 月 19 日 労務オンライン説明会

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

准認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

(2) ホームページ SNS の充実・報道

- ・ニュースレター HHM にゆーす

2024 年 7 月発行…37 号

2025 年 1 月発行…38 号

- ・暮らしの保健室だより 毎月発行 (12 回)
- ・Facebook <https://www.facebook.com/homeospice.miyazaki/>
- ・ホームページ <https://www.npo-hhm.jp/>
- ・HALE たちばなホームページ <https://www.hale-tachibana.jp/>
- ・Instagram・X



HP トップページ

マスコミなどの紹介

《新聞等の掲載》

2024 年 8 月 21 日 日本経済新聞

(3) 講師派遣・見学者の受け入れ

・講師派遣(市原)

- 2024 年 5 月 15 日 鳥取大学地域学科「地域学入門」
 7 月 2 日 宮崎県立小林秀峰高等学校
 10 月 13 日 日本死の臨床研究会年次大会（札幌市）
 10 月 29 日 宮崎県立看護大学「死生看護学」
 11 月 10 日 NPO法人ゆめの木 5 周年記念講演会（延岡市）
 11 月 16 日 日本緩和医療学会 九州支部学術大会 （宮崎市）
 11 月 23 日 在宅医療推進フォーラム（東京ビックサイト）
 12 月 11 日 宮崎大学医学部看護科「在宅看護論」
 12 月 12 日 小林市在介・居宅介護支援事業所連絡会（オンライン）
 12 月 21 日 日本聞き書き学校全国大会(横浜市)
- 2025 年 3 月 9 日 日本看護研究学会九州沖縄地方学術大会（宮崎市）
 3 月 23 日 日本ホスピス緩和ケア協会オンラインセミナー「ホスピス型住宅を考える」
 3 月 29 日 暮らしの保健室フォーラム

・見学者の受け入れ

ホームホスピスカあさんの家…8 件(入居相談見学は含まない)
HALE たちばな…随時対応

(4) 外部委員会参加

- ・宮崎市在宅医療プロジェクト会議…市原、太田
- ・県央在宅緩和ケア推進連絡協議会…市原
- ・延岡市障がい児・者支援拠点などの整備可能性検討委員会…市原
- ・宮崎市医療的ケア児等支援実務者検討会…堤
- ・日本財団みらいの福祉施設プロジェクト審査委員…市原



見学者へ法人概要説明

8) 助成・寄付

①ハウジングアンドコミュニティ財団

住まいとコミュニティづくり活動助成

9)組織運営

(1) 理事会・定期総会

①理事会 場所：暮らしの保健室及び ZOOM によるオンライン併用

第 1 回 2024 年(令和 6 年)5 月 20 日(月)17 時～

- ・ 令和 5 年度事業報告について（総会付議事項）
- ・ 令和 5 年度決算報告について（総会付議事項）
- ・ 令和 6 年度予算見直しについて
- ・ 就業規則の変更について
- ・ みつばち診療所の体制について

第 2 回 2024 年(令和 6 年)6 月 26 日(水)17 時～

- ・ 定款変更について
- ・ 給与規定変更について
- ・ 令和 6 年度賞与について
- ・ 借入れについて

第 3 回 2024 年(令和 6 年)12 月 18 日(水)17 時～

- ・ みつばち診療所移転について
- ・ 就業規則の変更について
- ・ かあさんの家曾師の閉鎖について



第 4 回臨時理事会 2025 年(令和 7 年)3 月 6 日(木)17 時半～

- ・ 訪問看護ステーションぱりおんの今後について

第 5 回① 2025 年(令和 7 年)3 月 27 日(木)17 時～

第 5 回② 2025 年 (令和 7 年) 3 月 28 日(金)11 時～

- ・ 2025 年度事業計画及び収支予算について
- ・ 2025 年度からの管理者変更について
 - みつばち診療所：立野進
 - 訪問看護ステーションぱりおん：久保野イツ子
 - 短期入所 leilei：靱田真弓
- ・ 就業規則の見直しについて
 - 訪問介護ぱりおんの休日見直し
 - HALE たちばなの変形労働制の廃止
 - 介護・育児休業制度に伴う規定の整備
- ・ 訪問看護ぱりおんに関する経過報告

① 総会

通常総会 2024年(令和6年)5月25日(土)13時半～

議長：久保野イツ子 議事録署名人：高橋好香、黒岩雄二

第1号議案 2023年度（令和5年度）事業報告

第2号議案 2023年度（令和5年度）決算報告

正会員総数 19名のうち 賛成 19名 反対 0名

報告事項...2024年度(令和6年度) 事業計画・予算

(2) 会員

正会員 19名 賛助会員 31名

(3) 寄付者

104名(団体も含む)

(4) 事務局

リーダー会議…開催日：毎月第4木曜日（定例）

参加者：理事長、担当理事、所属長、管理者

事務局会議…開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行ってきた。

参加者：理事長、副理事長、担当理事、事務局、管理者

【本部事務局】

事務局担当理事：黒岩 雄二

経理担当：2名 総務・事業担当：3名 かあさんの家担当：1名

・宮崎市エンディングノートアドバイザー 4名

・赤江地域まちづくり推進委員会つなごう部会 所属 1名

【HALE たちばな事務】

事務長：小川 博司

HALE 事務担当：2名 訪問看護事務担当：2名

診療所事務担当：1名 障害福祉事務担当：2名(兼務)